お元気ですか
寄居議会だより
No.122
2026年（令和8年）11月15日発行

＼蝶／
注目！町民取材

アサギマダラに聴いてみた 小さな羽がつないだものは

「フジバカマの苗を植え育て、蝶の飛来を待つ」。この取り組みは、町内小学校や長寿会へと広がっている。アサギマダラは、ひらひらと町のあちこちへと飛来。多くの人へ感動を届けている。

（2ページに関連記事）



矢島頼夫（やじまよりお）さん（西部）

アサギマダラの好物のフジバカマは、脇芽が多くて1年で大株になるので、そのままだと次の年に良い花が咲きません。だから、古い株は捨てています。アサギマダラに会うために、毎年3月頃から、脇芽1本ずつの苗作りから始めるんです。全国からの飛来を待っています。

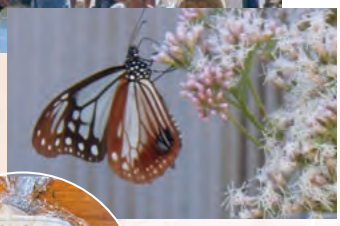
◀「250km49日の旅」
矢島さんの庭には、山形県山形市蔵王温泉スキー場中央グレンデから8月17日に飛び立った蝶が、10月5日に確認された。（マーキングされたZAO 8.17の文字が見える）

まちに芽吹く「希望」

「今年もありがとう」
寄居小学校

9月24日、アサギマダラが初飛来！ 昨年より10日早い訪問に子どもたちは大喜び。今年もアサギマダラの季節が始まりました。フジバカマのポプリ作りにも挑戦。「今年も寄居小に来てくれてありがとう！」







◀手作りのポプリ（香り袋）は、見守り活動を行う地域の皆さんに配られた。

「音色に誘われて」
鉢形小学校

10月2日、音楽会の練習中、音色に誘われたかのようにアサギマダラが体育館へ飛来。捕獲後は羽にマーキングを行い、観察しました。こうした環境緑化への取り組みが評価され、令和8年度埼玉県環境緑化コンクールに入賞しました。





「物語に感動」
末野東部長寿会

今年初めて、みんなで苗を植えるところから挑戦。旅する蝶、アサギマダラがつなぐ物語に感動しました。





EDITORS NOTE，122

「蝶が教えてくれたのは…課題に向き合うチカラ」

アサギマダラの美しさの向こうには、取材しなければ知ることのできなかった人の思いがあった。町民の声もまた、直接会い、表情を見つめ、声の温度に触れてこそ、その奥にある切実な思いや課題の本質が見えてくる。議会はこれからも町民のもとへ足を運び、その声の奥にある課題を捉え、町政を動かす力に変えていきたい。（鈴木）

議会広報広聴特別委員会

委員長 鈴木詠子
副委員長 本間政道
委員 里見夕子・浅見玲子・吉田林藏・津久井大雄・久保鷹矢・保泉周平

発行責任者（議長）原口 孝

UD 高齢者や視覚の弱い方にも配慮したユニバーサルデザインフォントを使用

「動画で見る議会だより」議会HPで公開中！

KOE METER 議会が聴いた皆さんの声

今号は16人が登場

0 1 0 3 2
（2015年～）

次回定例会は
12月1日（火）開会予定
（日程は変更になる場合があります）

請願・陳情はいつでも受け付けています。役場3階「寄居町議会事務局」宛に、持参か郵送でご提出ください。

発行 寄居町議会（議長 原口 孝）
編集 議会広報広聴特別委員会
直通 TEL 048・581・9995
FAX 048・581・5100
〒369・1292 埼玉県大里郡寄居町大字寄居1180番地1